

答 「あいち電子調達共同システム」を利用して、平成19年4月から電子入札を行う予定である。

障害者の声を反映した福祉計画の策定

問 障害者自立支援法による福祉計画策定の際に、どのようにして障害者の意見や声を取り入れるのか。
答 アンケート調査の実施や策定委員会に障害者の代表に参加していただくことを考えている。

アダプトプログラムの準備状況は

問 身近な公共施設の一定区画を市民に里親となつて環境美化してもらう



「アダプトプログラム」導入の準備状況を伺う。

答 平成18年度から試行調整を行い、19年度から本格的に実施していきたい。

児童手当の支給対象年齢拡大の周知を

問 制度拡充による新たな支給対象者への周知方法は。また、対象児童の何%が支給となるのか。
答 認定請求書を送付し、受給漏れのないように努めたい。支給対象は約93%と見込んでいる。

問 制度拡充による新たな支給対象者への周知方法は。また、対象児童の何%が支給となるのか。
答 認定請求書を送付し、受給漏れのないように努めたい。支給対象は約93%と見込んでいる。

蒲郡未来の会 代表 大向正義

こころ豊かな教育について

問 犬山市は平成19年度に実施される全国統一テストに参加しないことを表明したが、蒲郡市はどう考えているか。
答 全国統一テストは、点数至上主義を助長するものではなく、指導のあり

方を見直し、授業改革や指導の工夫改善につなげるものと考えている。その目的を活かすように実施するとともに関係機関にも要望していきたい。



問 基本健康審査と人間ドック委託料の削減を

基本健康審査と人間ドック委託料の削減を

問 基本健康審査の検査項目は23項目と法で定められている。本市では、33項目も行っているため、医師会への委託料が高額になっている。検査項目の見直しはできないか。
答 また、人間ドック委託料も高額であり、併せて見直しはできないか。

問 医師会の新人事体制が4月に発足するので、5月の連休明けから協議をしていきたい。

問 生活保護の申請は住民の権利であり、無条件

観光農業について

問 原油価格の高騰により、ハウスみかん農家は経営を圧迫されている。このハウスを季節の果物栽培に転用すれば、加温も必要なく、雨、風、虫を防ぎ、計画的な栽培が可能である。市内の温泉業者と連携をとれば観光農業となる。研究会等を設置してはどうか。
答 市、農協、県との定期的な勉強会があるので、その中で勉強をしたい。

問 国道23号線沿いに道の駅を設け、観光農業の情報提供をしてはどうか。
答 道の駅は勉強会を開いた経緯がある。民間の機運が高まれば開催したい。

日本共産党蒲郡市議団 代表 柴田安彦

生活保護の事務のあり方

問 生活保護の申請は住民の権利であり、無条件



に受け付けられるべきである。窓口申請用紙を常備し、自由に申請できるようにすべきでないか。
答 また、決定通知が法に定められた14日以内に文書でなされない事例があったが、事務は適正にされているか。申請は権利であるが、話をすることが大切なので、十分面接、相談をした上で申請していただく。申請者には誠に申し訳ない。今後は生活保護法、実施要領に基づき適正に事務を行うよう努める。

蒲郡海洋開発株との関係

問 市は、新年度予算で新たな増資に応じる姿勢を示した。また、海陽多目